

景況調査 結果報告 Vol. 16～アンケート期間 R2. 4月-6月～

今回、第16回目となる景況調査の報告をします。今回は「業況」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

景況調査（業況判断DI結果）全国版

	1-3月	4-6月	前期差
製造業	▲27.4	▲65.9	▲38.5
建設業	▲8.3	▲33.5	▲25.2
卸売業	▲28.5	▲65.3	▲36.8
小売業	▲31.9	▲68.5	▲36.6
サービス業	▲22.5	▲71.6	▲49.1

景況調査（業況DI結果）鳥栖版

	1-3月	4-6月	前期差
製造業	0	▲66.7	▲66.7
建設業	▲40.0	▲80.0	▲40.0
卸売業	▲66.7	▲33.3	33.4
小売業	▲50.0	▲50.0	0
サービス業	▲42.9	▲70.0	▲27.1

注目ポイント

全産業の業況DI値は6期連続してマイナス幅が拡大しました。製造業では8期連続してマイナス幅が拡大しています。

注目ポイント

製造業・建設業・サービス業はDI値のマイナス幅が増大しています。卸売業ではマイナス幅が縮小しました。

景況調査とは・・・

中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為四半期毎にアンケート方式で実施しています。

- ◆調査期間 令和2年4月～6月
 - ◆対象企業 鳥栖市内小規模事業 30事業所
 - ◆業種 製造5、建設5、卸売3、小売7
サービス10 計30事業所
- ※小規模事業とは、商業・サービス業では 従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

DI値とは・・・

ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)

《経営力アップのために！！》

当初HPに「新型コロナ対策 訪問しない営業方法」というテーマで

【さぎん情報クラブ リンクス 6月号 福永雅文氏著】を参照記事として掲載しております。

新型コロナウイルス感染症の影響で営業員が顧客へ訪問しにくい状況下での経営のヒントが見つかるかもしれません。

是非ご覧下さい！！

